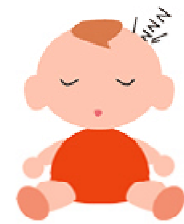


* 2人の子どもがいますが、多い時（1ヶ月の間で）、1つの病院に3、4回行くことがあり、非常に助かっています。が、就学前ではなく、小学校6年までにできればのばしてほしいです。



* 現物給付制度については支払う金額も少なく、すごく助かっています。だから「補助金」減額はやめてほしいです。

* 小さい子どもがいると、医療機関に全くかからない子どもさんはいないと思います。子育てで一番大変な時期に領収書を取っておいて助成を申請し、という手続きをするのは大変です。私も昨年4月以前の申請をまだしていない分が実際あります。これからの社会をになう子の子育てをサポートしていく為にも必要な制度だと思います。

* 子どもの成長と病気は切れません。子育て支援を考えるなら、カットすべきでないと思います。

* 小学生まではまだ病気・ケガ、特にケガの頻度が多いのに、就学前までというのは…。できれば小学生までは受けられるようにしてほしい…。

* この制度にはとても助かっています。できれば母子家庭の家にも導入してほしいくらいです。県は削除するのではなく、県民にとって本当に必要なもの、不必要なものを見極め、暮らしやすくしてほしいので、「市」は制度をこのまま守って下さい。

* 皆に公平でとてもいい制度だと思う。

* 我が家でも4月から利用し、提出忘れ等なくなり、本当に便利で助かっている。ただし、この制度の為に市のお金も多く使用されている。上の子を育てる中で、発達の遅れがあり、福祉施設を利用できる機会があったが、そこで様々な専門家が少なく、長崎市にはまだまだその専門家の手を借りないといけない子どもがいるにもかかわらず、足りていない。この現物給付制度は万人にとって有り難い制度であると考えられる一方、同じ税金の使い方としたり、弱者に使う方が優先順位は高いのでは？多数決では決められないと思います。

* 窓口を増やす。県統一用紙。

* 小学校の低学年の間まで助成制度をしてほしい（小さい頃は、病院にかかることが多いため）。

* 知っている人、知らない人、いると思うので、子どものいる家庭に手紙で<わかりやすく>届けたらいいと思います。

* 大変助かりますが、小児科・耳鼻科・歯科で受診して、後から申請しなくてははいけません。手帳か何かで何件行っても全部、800円×2、それ以上0円…わかりやすくしてほしいです。でもずいぶん助かっています。ありがとうございました。

* 子どもが小さいとなかなか手続きに行けないなと感じていたのが、現物給付になってとても助かっている。

* なぜ補助金を削減するのか教えてほしい。今後、削減された補助金の一部は何に使われるようになるか教えてほしい。

* 長崎市内で三菱病院や大学病院で使えないのは困る（特に大学病院）。県が中心となってしてほしい。時津町や長与町では、使えないので、外出先で使えないのが困る。

* 中学校卒業ぐらいまでに助成対象を広げてほしいです。

* 兄弟が多い家庭への補助がよくなると少子化対策にも良いと思う（3人目は無料とか…）。病院の種類を分けず、種類が異なる病院へ通院しても補助を認めてほしい。

* 現物給付が長崎市だけとは知りませんでした。便利になり、助かっているのに、なぜ補助金が減額さえるのですか？下の子が4月から小学生なので、医療費助成制度からはずれてしまいます。小学校までこの制度があればいいのに、と思います。

* とにかく制度が複雑。同じ子どもなのに、地域で差があるのはおかしい。国民をごまかすためにわざと複雑にしようとしているようにしか思えない。だから公務員は信用できない。全国统一にした方がよい。まずは、県下。い

い仕事をしてほしい。

*以前は助成分を戻してもらう手続きを市役所等へ行ってからしなければならなかったもので、小さい子どもを連れて行くのは大変だし、天候や体の状態によってもなかなか行けなかったりするので、今の現物給付はとても助かっています。ぜひこのまま続けていってほしいです。

*日本全国どこに住んでいても、同じように助成が受けられればいいなあと思います。

*対象年齢をもっと上げてほしい。

*受給できる年齢をもっと上がれば、とても助かるのと思います。

*公立学校共済等も同じように現物給付制度が受けられたら良いのに、と思っています。少子化が進んでいるので、補助金をカットするのではなく、子育てに国はもっとお金をかけて良いと思います。子どもを育てやすい環境を作っていただきたいです。

*子どもの医療費助成制度がどこに住んでいても同じであればいいと思います。

*助成制度の年齢延長、現物給付制度の実現、と母親としては本当にその都度、喜び感謝していましたが、県との葛藤があったのですね。今後も「現物給付制度」が持続することを祈っています。

*少子化の中、「現物給付制度」は必要だと思います。老人、子どものために税金を使ってほしい。

*子どもはよく病気、ケガをします。親の判断で病院へ連れて行く訳ですが、大人と違い、子どもは判断が難しい面もあり、ささいなこと（結果として）でも病院受診の回数は増えていきます。補助金をカットするのは反対です。子どもの成長のため、医療費助成制度を減額ではなく、もっと充実したものにしてほしいです。

*県によっては医療費0円もあると聞きました。少子化という割には、子どもに関わるいろいろな補助制度がなさすぎるように思います。

*子どもが病気になった時、お金が無いのでガマンすることがなくなり、安心です。あとひとつ欲張って言うなら、母親の医療にも助成制度がほしいです。乳幼児の母親は産後・授乳期ということもあり、体調を崩しやすく、母親が病気になると、家事全般に代行サービス料金がかかり、家計にひびきます。

*子どもが多いと1人が病気にかかれば次々とうつり、病院へ行くことが多くなるので、支払額が少しでも安くなれば、本当に助かります。でも薬だけとりに行くのにも800円必ずかかるのが少々不満です。

*手続きに行くのにも大変だったし、下に子どもがいたりすると病院代もいくらかかるかわからず、銀行のカードを持って行くことになったりするので、現物給付は助かります。

*少子化が進む今、少しでも多くの方がこどもを産み、安心して育てていけるような環境、体制を作っていただけたら…と思います。

*私たち市民にアンケートを回答させるのもいいのですが、逆に長崎市をはじめ参加団体、支持・賛同団体の方々はどうな風にお考えですか？いったいどのようにしたいのですか？

*他県と比べて長崎は補助金が少ないのに、これ以上減るのは考えられません。

*初回のみ無料にしたり、義務教育の年齢の子どもまで現物給付制度をしてほしい。小学校就学前ではなく、最低でも小学校の間だけでも延長してほしい。

*医療費助成制度を就学前までではなく（例えば小学6年まで）延長してほしい。

*とても良い制度だと思う。このように税金を身近にわかりやすく利用してくれるのは納税者にとっても還元されている実感があって良い。是非国全体でも実施してほしい。

*乳児を抱えて申請するのは大変だったので、よい制度だと思う。

*「現物給付制度」は手続きの手間がはぶけるので、とても良い制度だと思いますが、かかりつけの病院が市外のため、従来通りの償還払いになってしまうのが残念です。

*公立学校共済組合に属しているので、従来の手続きのままです。少額の助成分については、申請がわずらわしかったり、また少々恥ずかしかったりして届出しないうちが多いです。皆が漏れなく同等の補助を受けられるためにも「現物給付制度」の普及が必要だと思います。また、少なくとも義務教育期間（小学校位まで）は、医療費助成を適用してもらいたいです。

*一度窓口で提示しましたが、対象外と言われ、結局手続きが少量の場合は面倒で、一度も利用していません。

*子どもの病院代での支払額は月にけっこうな金額になるので、現物給付制度になるととても助かります。諫早市での受診が多いので、早く諫早市にも制度を導入してほしいです。

*申請をする手間が省けて、とても助かっています。でも主にかかっている医療機関が長崎市外なので、その分は殆ど申請していない状態です。あと、就学前の子どもが対象ということで、4月生まれと3月生まれの子では大きく差が出て不公平だという意見を聞いたことがあります。

*長崎市の医療費助成の広告で「福岡県の現物給付制度は2歳まで…」となっていますが、4年前には福岡県も小学校就学前まで現物給付制度に改正になっているのに、去年の市報でも未だに「2歳まで…」というのをやっているのはおかしいと思います。長崎県全体で早く現物給付制度になってほしいです。

*医療費無料にしてほしい！

*現状、多良見町の小児科がメインなので、助成分の手続きはしないといけないので、面倒くさい所もあるので、諫早市他全国での実施が望ましい。ただ補助金カットなどになって利用者の負担が変わらないのが心配。

*うちは従来通りの償還払いのため、現物給付は受けておりません。他県には3歳までは医療費が無料のため、病院窓口等の支払いの必要がない所があります。全都道府県がそのようになるよう国が動いてほしい。

*子どもを持つ親として「現物給付制度」というのはとても助かります。しかし、それによって補助金がカットされるということになると、従来の償還払い制度になってもやむをえないと思います。

*現物給付制度、助かります。ですが、小学生にも少し安くしてほしいです。乳幼児ほど病院へ行く回数は少ないのですが、たまに行くと薬代と診察代で高く感じてしまいます。

*市内すべての病院で現物給付が利用できると思っていたので、実際に利用してみて、利用できない病院と利用できる病院があることがわかり、最初はとまどいました。利用できる病院のリストがあればさらに利用しやすいのではないかと思います。

*給付の上限をせめて小学6年生までにしてもらいたい。

*このような制度があることを知りませんでした。

*親として“子どもが病気で苦しんでいるのに、現金がないから病院へ行けない”という思いをしたなら本当、やるせない、苦しい、悲しい気持ちになるはずです。今、暮らしやすさを感じている生活の中、子どもの医療や教育に関する経済的な負担を少しでも軽くしていただけるとありがたいです。

*以前、夜中の夜中の急病の時、夜間医療センターにかかりました。子どもがけいれんを起こしたので、色々な処置をしていただいたにもかかわらず、自己負担のみで助かりました。

*利用者にはとってもありがたい制度なのですが、利用者にとっても補助があることで安易に病院を利用することは考えなければならないと思います（公的資金を無駄使いしないために）。また、そのための親の知識（病気に対する）を深めていく対策も考えていかなければいけないと思います。

*県がこういう方針（長崎市に対しておよそ1億円のカット）をとろうとしている理由が判ったらいいのですが…。

*2007年に大学病院へ入院したが、現物給付制度を採用していないので、10万円近く一度に支払った。入院等長期療養が前提の治療の場合は、特に現物給付制度があった方が、経済的にも安心して治療できるのに、と思った。

*現物給付制度のおかげで手続き漏れもなく、手続きのために、かかった病院へ翌月に申請書の記入をお願いしに行かなくて済むので、小さい子を連れて回らなくてよくなり、非常に助かっています。自宅から一番近い病院が諫早市なので、他の市町もこの制度を取り入れてほしいです。

- *違う病院にかかれば、また最初から 800 円支払わなければならないのが何故？これをどうにかして欲しい。
- *大学病院など大きい病院では受給者証を提示しても使えず、助成分を払い戻してもらう手続きをしないといけないのが手間がかかります。大学病院なども長崎市内なので、利用することが多いので、同じ制度を入れてほしいなあと思います。
- *複数病院にかかった時、病院ごとに 800 ～ 1,600 円になるので、複数病院にかかっても、全部で 800 ～ 1,600 円で済むようになればいい。
- *全国的にみても、「現物給付制度」になっていない所の方が少ないはず。長崎市もようやく追いついてきたかと思っていた矢先、今度は「補助金の減額」…?!少子化が問題になっている今日、納得できない県の方針。
- *少子化で子どもを増やせ…と言っているわりには、実際、子どもがいる家庭への国・地方の援助が少ないと思います。子育てには大変なお金がかかります。子どもは国の未来を築いていく大切な宝です。無償にしてもいいくらいです。
- *可能であれば、小学生までに引き上げてほしいです。小学 3 年の子がいますが、まだまだ病院にかかることが多いので。
- *自分の実家（千葉）と比較して、大変立ち後れていると思います。助成対象年齢も義務教育が終わるまで、せめて小学校卒業までにしてほしいです。他にも病児預かり保育の充実など、子どもが病気になったら、親が自分たちだけで何とかしなさい、と言われていたようで残念です。もっと子どものいる家庭をサポートしてほしいです。
- *今度の春より諫早市の方へ転居が決まり、また現物給付制度が受けられなくなります。一度現物給付での便利さになれた上で、もう一度書類申請の償還払いに戻るのはとても億劫です。利用者にとってとても便利な制度なのに、補助金を減額するとなると、この制度を取り入れる自治体も増えず、いいことなしです。
- *持病があるので、対象年齢を小学校 3、4 年生くらいまで引き上げてほしい。予防接種の補助（インフルエンザやおたふくかぜなど）ももう少しあった方が流行が防止できるのではないかと思います。
- *少子化をくいとめるいろいろな方法として、この制度はすごくメリットがあると思います。
- *福岡等は多分何年も前から、子どもの医療費は支払いしなくても良いとのことでしたが、長崎は取り組みが遅いと思いました。他市や県で良い制度があれば実施して行ってほしいです。
- *子どもが病院にかかるだけでも大変なのに、その後役所に行くのに、交通費（郵送は切手代）がかかっていた。病院・薬局と思いがけず高額になることもあり、突然の病気は銀行に行くこともできず、心配だった。現物給付になりよかった。市外分も今まで通りの手続きをすればよいので、帰省も安心。
- *現物給付の方が手続きをしたりしないので、すごく助かります。特に複数の子持ちのお母さんには手間が省けていいことではないでしょうか…。
- *現在、就学前までの子どもに限定されているが、範囲を拡大してほしい（例えば、小学生までとか、満 10 歳までとか…）。市販の薬では、扱いによっては危険なので、小児科（歯科）を受診せざるを得ない。病気に対する抵抗力がつく年齢までの利用（補助）を希望します。
- *現物給付制度は大変いいと思います。小学校 1、2 年くらいまで受けられるといいと思います。受給者証が大きいので、もう少し小さいと便利だと思います。
- *福岡県などでは、3 歳まで医療費が無料です。長崎県でもできないものなのでしょうか。
- *財政難なのはわかるが、少子化問題がさげばれている中で、補助金を減額するのは非常におかしい。もっと制度を拡充して頂きたい。
- *制度自体は今後も継続してもらいたいと思いますが、「受給者証」（ピンク色）を病院等で使う、診察券くらいの大きさにしていただくと、持ち運びに便利だと思います。財布やカードケースに入る大きさだと常に持たれているので、忘れることがないのではないのでしょうか？
- *窓口負担が少額ですみ、すごく助かっています。今後も続けてほしいです。

*市内の医療施設はあまり利用する機会がなく、となり町にいい病院があるので、他の市町村でも利用できたらいいと思う。

*少子化と問題にあがるほどの世の中、補助金をなぜ減額するのか知りたいです。また以前のように請求手続きをしないと返金されないのでしょうか。県はもう少し考えて欲しいです。

*よくかぜをひいたり、2人もいますので、とても助かっております。

*神奈川県や山口県萩市や福岡県のように、子どもの医療費は受給者証の提示のみで、全てが無料になればこの「現物給付制度」も非常にありがたく、評価が出来るものになると思いますが、今現在の長崎市、ぜひ今後、完璧な「現物給付制度」を目指してもらいたいです。

*日本国内、他の地域では子どもの医療費は全て国で負担しているところもある。現物給付制度は維持すべきで、今後はさらに充実した内容で制度改良してほしい。少子化、人口減少の問題が深刻な日本の政治、地方自治体の補助金を減らすのは言語同断、地方自治体への補助金カットの前に、税金の使い道を正すことで財源見直しをすべきだと思う。

*福岡県から4月に転居してきましたが、以前より医療費が高くなり残念です。

*子ども（特に小さい子ども）は大人に比べて病院によくかかるので、出来れば医療費を小学生まで無料にしてほしい。

*小学校入学までとなっているが、早生まれの子は不公平だと思う。

*他府県から永住で長崎に来ました。他府県では、「現物給付制度」だったので、やっと長崎もと喜んでます。欲を言えば、自己負担金を500円に!!

*現物給付は子育ての立場からとても助かっています。この制度が今後国レベルで広がることを期待します。

*福祉医療費受給者証はカード（硬い）になりませんか？うすい紙なので、やぶけたりすることがあります。

*地域によって異なると思いますが、できれば3歳までは医療費を無料にしてほしいです。

*乳幼児のいる家庭は大変なので、現物給付はいいことだと思いますが、地方公務員の家庭など従来通りだというのはかわいそう…市役所まで出向いたりなど、大変だと思われそうです…。

*住む場所によって助成の方法や金額が異なることに疑問を感じる。

*あまり助かっているという実感がわかないし、病院にもめったに行かないので（行っても月1）どちらともいいがたい。

*医療費助成制度が県や市、地区によって差があるのが不公平だと思うので、国として均一になるように実施してほしい。



*他府県ではもっと早くから「現物給付制度」が確立されているのに、県内で制度導入が進まないのはなぜか？またせっかく導入されて助かっているのに、「補助金」を減額するなど、県として少子化対策や子育て支援を本気でするつもりがあるのか疑問に思えます。他にもっと削減できる予算があるはずなのに…。

*長男の時喘息で、医療費や薬代がかなりかかりました。当時は薬代が月に5千～6千円…今は調剤薬局での支払いがないので、そこのところはかなり助かるのではないのでしょうか？改めて見直そうと思うのであれば、国はもっと子どもたちへ補助金を出さなければならぬと思います。カットなんてひどいと思います。

*少子化対策の意味でも、もっと福祉医療面には予算をつぎ込んでほしい。家族が増えるので、今後不安です。

*現物給付になったおかげで、お金がない時にもあまり気にせずに通院できるようになったことはよかった。しかし、軽い風邪等ですぐ受診してしまう親も多くなり、全体の医療費の増加になるのも考えものだと思う。個人的に

は就学前まででなく、小学校卒業時まで延長してもらいたい。

*ただでさえ、育児にはお金がかかるので、現物給付はあたり前だと思う。現物給付は国として実施してほしい。補助金を減額するのはおかしい。→1億円のカットを何に使うのか?説明してほしいです。

*現物給付制度になり、とても助かっています。

*以前にいた都市(北九州、大分)では、小学生の助成があったように聞いています。他の公共料金がのきなみ高い長崎…。子育て世帯に、もう少しやさしくしては…と思います。

*現物給付制度対象外のため、受診したことがない。小さな子を持っていて、手続きが面倒では、いくら助成制度があっても十分にその利益が行き届かないので、是非一律に全国的に現物給付の制度としてほしいです。

*他県の友達は、15年くらい前からやっていると聞いて、待っていたけど、今やっと長崎もやってくれてよかったですと思っています。しかし、「現物給付制度」によって、県からの「補助金」が減らされるっておかしいと思います。東京の友達は、中学校まで医療費免除とか、児童手当ももらうとかきくので、地域差を感じる。子育てしやすい環境づくりをお願いしたい。

*4月に長崎に引っ越してきました。他の自治体ではあたりまえ、長崎県の医療制度が遅れている。他の自治体はあたり前に実施されているのに、長崎ではなぜできないのか疑問に思う。

*1月で6歳になったばかりですが、就学前なので、3月までになります。4月生まれの人よりも助成期間が短いので、6歳までにしてほしいです。

*自己負担分の支払いがわからない(病院によって金額が違うので??)。

*小学校低学年までは病気をする回数が多いので、年齢を上げるべきだと思います。

*国は少子化で子どもを産めと言いながら、そういう所にこそ、税金を使うべきだと思う。

*満足している。

*現物給付制度になり、子どもが急病で病院に連れていく際、手元に現金がなくても、まずは治療に行けるので、大変が楽である。この制度になったからといって、通院する回数は増えるとは思わない。少子化で、子どもの人数が減少しているのだから。助成を変更するのはおかしいし、目先の対応としか思えない。

*完全な現物給付の実現を願っています。

*インフルエンザの予防接種など、1人につきは高額でないにしても、子どもの人数に応じて金額がかかるし、2回接種なので、もう少し安くできないものでしょうか。

*長崎市だけではなく、どこの県でも行い、統一してほしい。

*同医療機関につき1ヶ月、1,600円まで自己負担なので、日・祝日等別の当番医に行くと、別料金計算となるので、そこを考えて欲しい。

*“少子化”を解消すべく、いろいろな対策が必要と叫ばれている中で、時代の波に逆行するようなことはしてほしくない。→長崎県長崎市の決断と努力は大変評価できると思う!

*今、食費・生活費全体が全て値上げされ、所得に対して支出が家計を苦しめている中で、子ども達の通院・投薬が現物給付された事は唯一の救いです。補助金のカットにより、この制度が白紙に戻らないように、国には最大限の努力をして欲しいです。

*現物給付制度が実施されてから、とても病院にかかりやすくなりました。以前は月に何度もかかると出費もかさみ、市役所に申請しても戻ってくるのに1ヵ月以上かかり、負担が大きく大変でした。よく「子育て支援」といわれていますが、まさにこの制度は子育て支援なのではないでしょうか。県が補助金を減額するのはおかしい話で、子育て世帯の負担を減らすどころか、負担を増やしてしまうことになるのではないのでしょうか。

*就学前の子どもだけでなく、もっと対象になる年齢の幅を広げてほしい。

*年齢の上限をもう少し上げて欲しい。

*少子化という割には子どもに対する制度が減らされるのには納得がいきません。これまでの制度でなら病気してもすぐ連れていき、ひどくならないうちに元気になり、幼稚園学校生活を送れ、又、まん延を防ぐこともできるのではないかと思います。小さい子はカゼ一つばかりにはできません…。すぐ連れていってやるためにも安く医療費をしてもらいたいです。

*少子化と言われているのに、子どもに対しての助成制度などが減少したりするのはおかしいと思ってます。逆にもっと子どもに対して育てやすい取り組みをするべきだと思います。将来を背負う子ども達が過ごしやすい環境にするのが大人達の務めだと思います。

*小学校卒業するまで医療費の助成を続けて欲しいです。

*申請書の記入や役所へ行くのが面倒だったので、現物給付になり楽になりました。薬局は特に助かってます。

*子育ての中で、医療費は大きな問題です。国としてしっかり支えて欲しいです。

*子どもの医療費助成制度の年齢をもっと上まで(小学生まで)にして欲しい。インフルエンザの予防接種に小学生も補助をして欲しい。2度接種で毎年のことなので負担が大きい。

*子どもが医療機関を利用する機会は非常に多いものです。もし、金銭的理由により受診出来ず、取り返しのつかない事態になったら…どの子どもも平等に医療を受けられ、親も安心して子育てが出来る社会であってほしいと願っています。

*子どもはしょっちゅう病気になります。だから、家庭の医療費の負担が少しでも軽くなってほしいです。

*小学校卒業する子どもにも現物給付制度があればいいなと思います。

*「現物給付制度」を利用して支払う金額がわかっているから安心です。補助金を減額するのはおかしいです。子育ての支援にならないと思います。良い制度なので、小学校低学年まであったらいいなと思います。

*他県から引っ越してきた時に、子どもの医療費を払うことにまず驚きました(今まで全額免除だったので…)。市の財政もあるでしょうが、他を見直して子どもの医療費助成は更に進めてほしいです。

*小さい子どもは病院に行くことが多く、手続きに行くのは大変なので、いい制度だと思う。本当に助かっています。ぜひもっと多くの地域で実施してほしいです。

*長崎市は(県も)子育て支援といいながら、子育てに関する財源をカットしすぎてます。もっと税金を大事なことに使ってほしい!! 子育てにお金がかかりすぎるので補助をしてほしいです。でないと子どもを産む人がもっと減るでしょう!!

*償還払い制度から現物給付制度に変更になるのを聞いて申請の手続きに行ったりしなくてよいので喜んでいましたが、実際「現物給付対象外」になっていたのがっかりしました。

*確定申告の際に助成の手続きをした支払い分は領収書がなく、医療費に入れることができなかったが、この制度になってから、かなりの金額(医療費)を医療費として申告できるようになった。助成対象年齢も以前より引き上げられとても助かっている。現物給付はとても助かっているが、医療機関の中には、この制度を利用できない施設があり、以前と同じように面倒な手続きを必要としており、その分の確定申告時の控除がうけられない状態である。すべての施設で利用可能になることを望む。我が家の子ども全員の医療費は本年度、助成を受けた上で20万をはるかに越えています。1円でも多く助成されることを望みます。

*国にもっと力を入れてほしいです。はっきりいって学校の教科書は1年たったら返却するべきです。改定はたまには必要でしょうが、毎年いるのでしょうか? もったいないと思うのは私だけでしょうか? どこに力を入れるといいんでしょうね。

*上の子がぜんそくで毎月病院に行って薬をもらうのですが、もう8才なので全額払っています。今は6才までしか受けられないんですが、特病をもっている子は、毎月お金がかかるのでそういう子に対してだったり、小学6年生までなどに引き上げてほしいなと思います。

*少子化が進む中で医療費助成は心強い子育て支援だったと思います。出生率を上げるためにも補助金はカットしないでほしいです。ただ、うちは共済なので、どうして現物給付じゃないのか？わかりません。

*昨年より実施された「現物給付制度」は本当に子育てをしている私達にとって大変助かっています。「やっと実現されたな。良かったな。」と実感しています。全国的に見ると子どもの医療費は全く払わなくてよい県もあると聞いたこともあります。それなのに長崎県が補助金を減額する等、子育てをしている私達にとっても厳しい処置をしていくと、今後ますます子どもを産む女性達が少なくなっていくと思います。本当にこのようなことはやめてほしいです。

*少子化対策として現物給付制度は必要だと思う。

*小学6年までこの制度があったら良いなと思います。インフルエンザの予防接種の料金を下げてほしい(小学生になると、2回接種で負担が大きい。1回につき2000円位にしてくれると助かるが…)。

*「安心して子どもを産み育てることのできる社会」しかし行政の厳しい現実があるようです。日本を愛し、長崎を愛するがゆえにもっともっと市民が個々が改善すべき時が来たと思います。そのためにも現状維持さらなる発展のため精進されることを願います。

*かかりつけの小児科は時津町なので、「現物給付制度」が利用できません。時津町のみでなく、まずは県内で実施してほしいと思います。大分出身で大分県では就学前(だったか?)子どもの医療費が無料(もしくは少額だったか)のように聞いています。何かと病院通いの多い子どもの医療費負担が少なくなれば助かります。

*子どもの数が減って大変だというのに、子どもに対しての補助を減らすのはおかしい。減額するより増額するのがふつうだと思う。新幹線ルートを作るより子どものためにもっとよくするべきだ。そんなんじゃ長崎から子どもがいなくなる。

*現物給付制度はぜひ続けてほしい。3月生まれの子がいるので小学校就学前までという期間は4月生まれの子どもと比べると不公平感がある。

*以前に住んでいた市では、現物給付制度を取り入れており、負担額が500円ですみました。国で統一されればよいのに…と思います。インフルエンザの負担額も長崎は高いなあと思います。

*とてもよい制度と思っています。小さい子を連れて書類を作り、提出のために外出することが大変で申請をあきらめることが多くありました。10数年前から福岡、鹿児島ではこの制度があり、長崎市でもやっと始まりとても嬉しく思います。県内に広がることを願っています。

*子どもの医療費助成制度の「小学校入学前」までというのはおかしいと思う。子ども(18才未満まで)はこの制度をうけられるようにしていただきたい。

*薬局での支払いを0円にするのではなく、補助の上限を決め(ex.800円など)、その上限を超えた分は自己負担にする等の制度でいいのではないのでしょうか。乳幼児に対し手厚くしすぎています。

*以前、2人の子どもが同時に夜間病院に行ったことがあります。遠方の救急病院へのタクシー代も含め2万円以上かかりました。もし財布にお金がなかったら病院へ行くのをあきらめる人もいるかもしれません。ただの風邪ぐらいで病院に行くのは反対ですが、緊急の時に「現物給付制度」は本当にありがたいと思います。

*現物給付制度になって、窓口で支払う額が少なくなったので、前よりは助かっているが、そもそも1回につき800円も負担することが額が多いように思う。なかなか病院へ通うことの大変さに、あまり変わらないので、他のところでのサービスがあったらうれしいです。

*助成される年齢が小学校に入るまでというのを、もう少し上の年齢まで上げてほしいです。インフルエンザなど小学1年生から一般料金というのも高い気がします。せめて小学生のうちには半額位にしてもらえたらと思います。

*良い制度だと思うので、補助金を削減しないでほしいです。

*助成分の手続きの手間も省け、病院にかかりやすくなったと思うので補助金削減はおかしいと思います。

*長崎県全域で実施してほしい。

*長崎市の現物給付制度をととても評価してます。お互いに手間がはぶけていいと思います。子どもの数だけ医療費はかかります。補助金をカットするのはおかしいと思います。今回はインフルエンザの予防接種も1万5千円にもなるので打たせませんでした。

*他の県では無料で受診できるのに長崎は1回800円もするのは高すぎる！ 少しのことで病院に行くのをためらってしまう。

*以前に居住していた他県では現物給付を実施していたので、長崎県に転入した際にはとても不便に感じていました。小さな子どもを抱えて役所に手続きに向かうのはとても大変です。長崎市が現物給付になって、市の負担は増えると思いますが、子どもを育てる家庭にとっては良い制度だと思います。

*子どもは大人に比べて一度病気にかかると、大人より通院回数も多いし、口ではうまく説明できないため、病院へ連れて行かないと困ります。急な支出のため、家計が厳しい時にこの制度はとても助かります。その上、現物給付制度は払い戻しの手続きがいらず、書類も少なく済みます。こういう制度は全国で取り入れるべきです。そして、補助金の減額は、子育て支援に進む時代に逆らうものだと思います。これからの日本を担う子ども達のため、こういった制度にもっと理解し、補助を充実させるべきです。

*女の都在住で、市内や長与町の総合病院にかかることが多いです。市内は現物給付していただけるので非常に助かりますが、長与町内の医院にかかるると今までのように書類に記入し、手続きを行わないといけないので「手続きをしないといけない」 ちう手間は変わっていません。

*県は新幹線のための予算をたくさん取っているようだが、新幹線が長崎に来たところでそれほど便利になるとも、利用が増えるとも思えない。諫早干拓にかかる大金も税金の無駄使いとしか思えない。新幹線や諫早干拓にかかる税金は子どもの医療費にまわすべきです。子ども達には未来があるから…。私たち大人は今だけを見ずに未来を想定して行動すべきです。新幹線より子ども達の命を守るべきではないでしょうか。平和を発信する長崎だからこそ「命」を最初に考えて欲しい。

*転勤で長崎に来ました。以前の県では当たり前だし、年齢も上がっていています。長崎に来てビックリしました。本来、給付すべきお金を手続きをしていないから給付しないのは怠慢だと思うし、サギのようです。

*自己負担額1回につきMAX800円、上限1,600円ですが、これは大体月2回の通院での負担金で、3回目からは負担なしといった印象です。しかし、一般的に月3回も病院へは行かないし、大きな病院では現物給付のシステムを採っていないとか。これを聞くとあまり意味がないような機がします。月に何度も受診が必要なお子さんをお持ちの方などは大変だと思います。確かに今までより便利になりましたし、助かっていますが、ぜひ無料にしていきたいと思います。少子化にも役立つことにもなると思います。

*住まいが長与町にととても近く、かかりつけが長与町の小児科だったため、以前通り、後から請求している。国全体で統一されるのが理想だが、少しずつでも範囲も年齢も広がっていくと良いと思います。

*とても助かっています。長期の治療の時などもお金の心配もせずに子どもを病院に連れて行けます。小児科だけが「長与」で、現物給付でないの、全国的に現物給付になれば良いと思います。

*小学校卒業までと言いたいところですが、せめて就学前までは医療医の負担が一切なくても良いと考えます。

*現物給付制度が実施されて、実際に利用し、想像以上に便利だと感じました。要望の強いことに対して補助金を削減されるというのは悲しい話です。今後少しでも子育てしやすい環境が整っていくように願います。

*女の都地区では、病院は長与町に行く場合があるが、そういう時は現物給付が受けられない。他の町でも受けられるようにして欲しい。

*小さい子どもがいて、市町の窓口に行けず、何年もためている状況です。特に市からの改善策もないままで、今回、現物給付制度を導入したからといって、補助金減額とは本当に納得できません。

*少子化に歯止めをするためには、育児をしやすい環境が必要だと思います。補助金減額など、言語道断です。

*子どもは国の宝です。子どもを生まなくては市町村、国は成り立ちません。多くの女性に産んでもらいたいと思うのであれば、様々な制度で保護する必要があります。ちなみに児童手当がいただけず、わが家は火の車です。

*もらうべきお金を最初にもらうだけなのに、なぜ補助金を減額するのか分かりません。それより今まで手続きを

しないからと言って、給付しない制度の方が問題だと思います。

*医療費助成を小学生まで引き上げて欲しい。

*小学生になっても病気、けがをすることが多いので、対象年齢をせめて中学入学までにして欲しいです。

*少子化対策のためにも補助金の減額などは避けて欲しい。

*子育て支援の拡大を言われている世の中、やっと長崎も現物給付がはじまって全国に追いついてきたと思ったのに、補助金カット！は逆行していないですか?!矛盾を感じます。全国統一してほしいと思います。

*子どもがたくさんおられる家庭では、非常に助かっているので、「補助金」を減額どころか、小学校6年生まで引き上げて頂きたいと思っています!!

*今までは手続きが面倒だったため、提出することが少なかったのですが、現物給付になり、確実に給付して頂けるようになり、助かっています。

*市外から転入してきたので、便利で良い制度だと思います。

*義務教育まで制度をのばしてほしい。大学でも使えるようにしてほしい。

*とてもよい制度だと思います。働く親にとっては忙しいので、支所へ行く時間や計算する手間がはぶけて助かっています。その時間も、子どもとの時間が増えるので、とても良いことだと思います。

*子どもを育てやすい環境を作ってほしいです。

*生活に助成制度はとても助かるものなのに、本当は無料にしてほしいくらいなのに、減額は困ります。自治体によって、金額が違うのは他県でならともかく、同じ県内で金額に差があるのはおかしいと思います。保険証を他県で使用した時、山口の方では、保険証に書かれている筆頭者（祖父）ではなく、子の父の銀行に差額を振り込んでくれた。長崎ではそれができない。融通がきかない。

*中学生までお願いしたいです！

*うちはまだ提示してからしかもらえません。

*あと水疱瘡やおたふくかぜ等の予防接種の助成金がでると思います。

*補助金の減額が言われていたのに、現物給付が実施されて大変よろこんでいます。小さい子どもが病気の時、また手続きでわずらわされる精神的な負担も減りました。ただ妊婦健診の国から5回の補助が出ているのが、長崎市はこのために実施されなかったのでは？と残念です。

*長崎市は、もっと子育てに関してがんばってほしいです。

*県の方針は大変おかしいと思います。子育てに追われる親がどれだけ助かっているか、おわかりではないのでしょうか。再度検討してほしいです。

*未来の子どものことをもっと考えてほしい。

*受給年齢をのばしてほしい。窓口の支払いを0円にしてほしい。

*子どもを育てやすい社会にして下さい。

*とてもよい制度で、とても助かっています。

*年齢をもっと上げてほしい!!

*他県から転勤してきたが、長崎のシステムの遅れにびっくりした。「現物給付制度」の何が悪いのか。親は助かる。

*子育てしやすい県・市づくりにがんばって下さい。子育てしやすいと都会から戻ってくるので、市も努力して下さい。